

Caution!



注意



禁止



指示

この注意事項は、村に住んでいる地域の皆さん(高校生や40年以上住み続けている方など)と一緒に考えた、リアルな音威子府村ならではのものです。
音威子府村で過ごすときは以下の事項に気をつけて、安全で有意義な生活を楽しみましょう。

通年



8と18の付く日には、毎晩18:30にサイレンが鳴りますが、火事ではありませんのでご安心ください。※時報及び消防団活動合図



村内での買い物は、22時(※セイコーマート閉店時間)までです。万一の時、必ず開いていて村から一番近い(約30km先)買い物場所は、美深町のセブンイレブン(24時間営業)です。※北海道ご当地コンビニ



ガソリンスタンドが1件ですが、毎日18時半まで営業しています。(11月～3月は18時閉店、日曜日は17時閉店)その時間以降は名寄市(約50km先)まで行かないと給油できないのでご注意ください。



広大な土地でも、誰かの私有地の可能性があります。看板などを注視しましょう。



日常的に市街地や庭に野生動物(シカ、ウサギ、キツネ、タヌキ、アライグマなど)が出てきますが、触ったり、餌を与えてはいけません。可愛く見えても我慢しましょう。



列車を撮影する際は線路からの距離を十分に保ち、不法侵入、路上での逆向き駐車、スピード違反をしないように気を付けましょう。



村指定のごみ袋は、カラフルな5種類(緑、黄、ピンク、透明、青)です。家でのゴミ箱スペースが取られがちですが、ルールを守ってきちんと分別しましょう。



分からないことがあれば、村民に聞いてみましょう。きっと親切に教えてくれます。

夏



ウォーキングや散策を行う際は、野生動物(特にヒグマ)に注意をし、声や熊すずなどで音を出すなど、人の存在をアピールしましょう。



村の周りを山で囲まれているので、市街地以外のいたるところでヒグマが目撃されています。特に目撃の多い場所は村内MAP(P14-15)にマークがありますので、その場所付近には徒歩や自転車では、近づかないでください。



川釣りやカヌーでの川下りの際は、必ずライフジャケットを着用し流されることのないよう、細心の注意を払いましょう。深夜・早朝に行う際は、十分な睡眠を取り安全運転で移動しましょう。※ここでもヒグマに注意



夏の村は草刈機のオーケストラが頻繁に開催されます。石などが飛んでくる場合もあるので、草刈りをしている近くを通りかかる際はご注意ください。



畑や牧草地の中には入ってはいけません。農家さんが大切に育てている農作物です。離れて撮影しましょう。



夏は皆さんが想像しているよりも涼しくはありませんが、夜は多少涼しくなります。一枚羽織るものをお持ちください。



暑い日は、虫(特に蚊・アブ)が多いので、虫よけスプレーやハッカ油を上手に活用して対策をしましょう。



5月より6月の方が寒いことが多いです。特に音威富士が雲で隠れると寒くなります。(※村民の肌感覚)

冬



冬は長ぐつが必須アイテムです。スーツにも長靴が当たり前です。雪が入らず、濡れても染みない靴でお越しください。



除雪後の路面はスケートリンクのように滑りやすいです。歩行者も車もみんな気を付けましょう。

運転する時の注意

■ホワイアウト(吹雪で前が見えない状況)の日は運転してはいけません。

■タイヤ交換は、11月の初旬には終わらせておきましょう。

■車に除雪用スコップを積んでおきましょう。

■雪にはまっても無理にエンジンを吹かず、雪を取除いてからゆっくり発進しましょう。

■故障や寒さでバッテリーが上がった時は、最寄りのガソリンスタンド(ENEOS音威子府SS)へ



天気予報をよく確認し、-20℃以下が続く日は水道凍結防止のため、水道管の水抜きを必ず行いましょう。



村民は早朝5時ごろから雪かき(闘い)を始めます。路上駐車などは除雪作業の妨げになりますので、絶対にやめましょう。



路肩の雪山は2mを超える高さになり、雪壁ができてしまいます。雪山からの車、歩行者の飛び出しに注意しましょう。



線路の雪を跳ね飛ばす真っ赤なラッセル車はカッコいいですね。撮影をする方もルールを守り、カッコいい姿で撮影しましょう。